

国立大学等キャンパス計画指針（概要）

【第1章】キャンパスに求められる基本的役割・機能

教育研究活動を支える

全人的な人格形成を促す

社会に開く

個性・特色を表す

交流を育む

時代を紡ぐ

【第2章】キャンパスの目指すべき方向性

● キャンパスの質的向上 ●

〈キャンパスの役割・機能の強化〉
〈学修支援環境の充実〉
〈国際競争力の強化〉
〈安全・安心で持続可能なキャンパスの形成〉

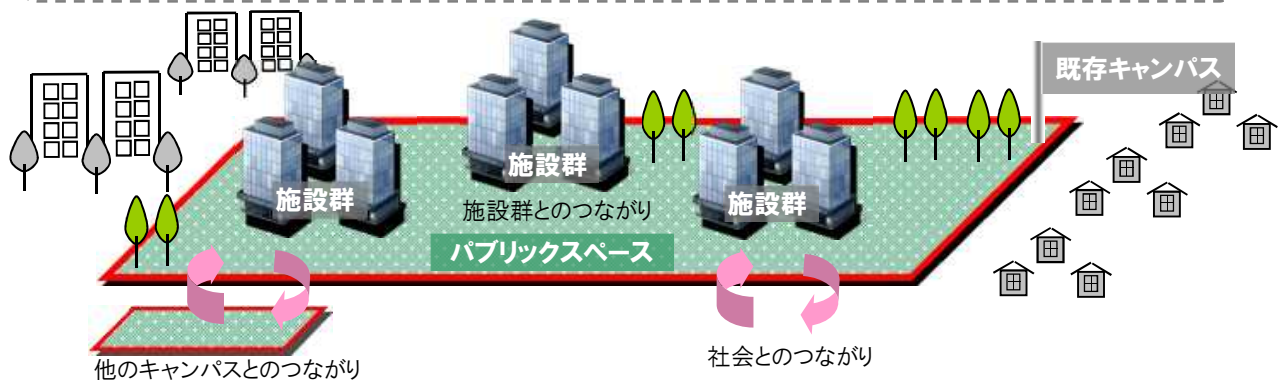
● 開かれたキャンパスの実現 ●

〈公共性のある空間としての活用〉
〈地域再生の拠点形成〉
〈社会のモデルとしての活用〉

【第3章】今後のキャンパス計画の在り方

1. キャンパス計画の基本的考え方：「創造的再生」

既存キャンパスの長所を生かしていくことを前提に、知恵とアイデアを集め、大学の機能強化や個性・特色の伸長につながるよう、キャンパスマスタープランやその実行計画を充実させながら、キャンパスを創造的に再生



創造的再生の基本的視点

キャンパスを創造的に再生していくための「戦略」、「協働」、「工程」、「空間」を明確化し、その実践によりキャンパスの価値を最大限引き出す

①「戦略」

自らの個性や特色，社会的役割を踏まえ，既存キャンパスを再評価し，創造的再生の戦略を策定

②「協働」

キャンパスの機能を維持・向上させていくため，学内外関係者，大学間の協働の仕組みを構築

③「工程」

キャンパスづくりを組織的・段階的に進め，全体の再生につなげていく工程を共通認識

④「空間」

大学の役割を支え，教育研究を活性化させるため，キャンパスを特徴付ける空間を意図的にデザイン

2. キャンパス計画の留意事項

(1) 教育研究の活性化

- ① 質の高い教育研究環境の確保
- ② パブリックスペースの充実

(2) 地域・社会との共生

- ① 連携拠点の形成
- ② 景観の形成

(3) サステイナブル・キャンパスの実践

- ① 地球環境への配慮
- ② 既存資源の戦略的な管理運営

(4) 安全・安心なキャンパスの確保

- ① 健全な環境の確保
- ② 多様な利用者に対する配慮
- ③ 安全性に対する配慮